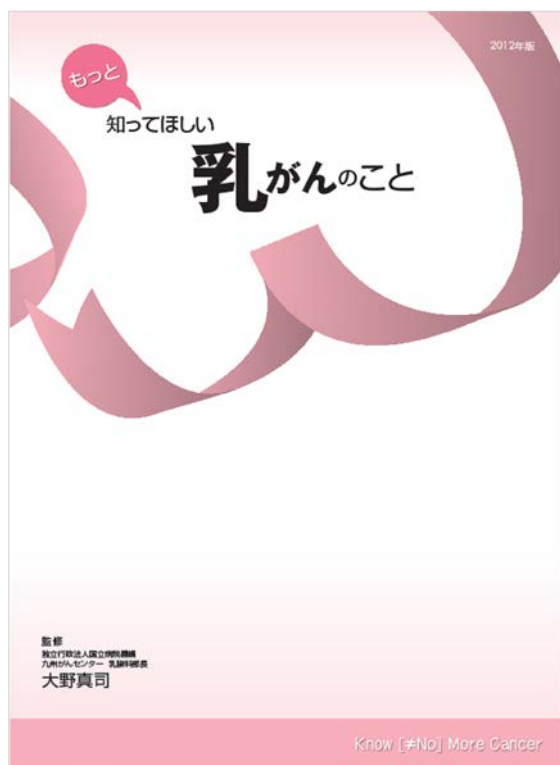


特定非営利活動法人がんセンターネットワークジャパン／日本イーライリリー株式会社
株式会社毎日放送(MBS)／アメリカンホーム保険会社

乳がん患者さんと医療スタッフとのコミュニケーションを円滑にするための冊子を作成 ～近年の乳がん治療法の多様化に対応するため～

特定非営利活動法人がんセンターネットワークジャパン、日本イーライリリー株式会社、株式会社毎日放送(以下、MBS)、アメリカンホーム保険会社は、乳がんに関する基礎知識や、医師に質問すべきことなどをまとめた冊子『もっと知ってほしい乳がんのこと』を作成しました。本冊子を活用することで、乳がん患者さんが納得のいく治療を受けられるようになることを目的としています。今後本冊子をがん診療連携拠点病院 397 施設、その他がん患者相談窓口を含む医療機関などに送付するほか、各団体・企業を通じて配布します。また、がん医療情報サイト「がんチャンネル」(URL: <http://www.cancerchannel.jp/>)や、各企業のホームページなどからも入手できます。



乳がんは、女性がかかりやすいがんの第1位です。乳がんは30代から急増し、40～50歳代の女性に特に多くみられます。その後ゆるやかに減少しつつも80代まで高い確率で推移していきます。日本人で1年間に新たに乳がんと診断された人の数は2005年には50,695人、その数はこの10年の間に、1995年の31,174人から、およそ2万人も増加しています¹。乳がんで死亡した人の数は、2008年には11,797人です²。(出典:¹国立がんセンターがん対策情報センター「地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975年～2005年)」²国立がんセンターがん対策情報センター「人口動態統計によるがん死亡データ(1958年～2008年)」)

本冊子は、独立行政法人国立病院機構九州がんセンター臨床腫瘍研究部長 大野真司先生の監修のもと、乳がんそのものや標準的な治療などについて、患者さんやご家族などの支援される方が知っておきたいことを全20ページにまとめています。また、冊子には、MBSのニュース番組VOICEが展開している、「がん検診啓発キャンペーン”Jump over Cancer”」の協力のもと、患者さんと支援されるご家族などの体験談をPatients Voice(患者の声)として掲載しています。

特定非営利活動法人がんネットジャパン

1991年二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布した事に始まります。その後、各種がん患者向け書籍の出版、NCIがんファックスの翻訳提供(現在終了)、NCI PDQの翻訳Web公開(現在更新終了)、電話・手紙・メール・ファックスでの「セカンドオピニオンコール」等のサービスを提供してきました。2002年には、東京都よりNPO法人格を取得し、同年、がんネットジャパンホームページが日経インターネットアワードを受賞しました。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業、市民へのがん啓発活動を行っています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.cancernet.jp/>

日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、革新的な医薬品の輸入・開発・製造・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、注意欠陥・多動性障害(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症をはじめとする、ニューロサイエンス領域、がん領域、糖尿病領域、成長障害領域や筋骨格領域における治療法を提供しています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>

株式会社毎日放送(MBS)

1951年日本初の民間放送(新日本放送・当時)として誕生。東京のTBSとネットワークを結び(JNN系)関西(近畿2府4県と徳島)をカバーする放送局です。誠実さと親しみやすさ=信頼感をモットーに様々な番組、事業を展開しています。2011年1月からは夕方ニュース番組「VOICE」でJUMP OVER WOMEN CANCER“女性とがん”キャンペーンを展開。2012年からは“Jump Over Cancer”に発展し、全国的に見て低い関西のがん検診受診率UPを目指す「がん検診啓発キャンペーン」を全社で展開。“テレビの力”を信じて真正面から取り組んでいます。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.mbs.jp/joc/>

アメリカンホーム保険会社

アメリカンホーム保険会社は、1960年に日本における損害保険の事業免許を取得して以来、半世紀にわたり日本での事業を展開しています。日本で初めて傷害保険の通信販売やリスク細分型自動車保険の販売を開始したほか、シニア向け傷害保険、医療保険などを発売しています。2012年4月には、ガンになったことがある方でも、過去2年以内にガンで入院・手術をしておらず、かつ健康状態に関して一定の条件を満たしていれば申し込むことができるガン保険を販売開始いたしました。これからも、常にお客様視点で考え、お客様の信頼を得て「お客様に選ばれる会社」になることを目指していきます。詳細はホームページをご覧ください。

(新しいがん保険スペシャルサイト：<http://minhos.jp/>)

【冊子に関するお問い合わせ先】

NPO 法人がんネットジャパン

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

E-mail:info@cancernet.jp